

災害時啓発をオリジナル『体験型』で企画して地域へ！ ～地域みんなでバリアフリーの防災対策～

平成は大きな災害が多かったように思います。令和になったからと言って減ることはありません。現代は科学技術が進み、さらに大きな災害が起こると予測されています。私たちは災害が起こってもすぐに対応できるように研修し、それを校内や地域の皆さんが活かせるオリジナルの『体験型』として、工夫と改善をしながら啓発し続け、地域に浸透するようになりました。

でも、活動すればするほど、高齢・疾患・障がい・外国語・乳児等、災害弱者の命を守るほどの対策なのか？と気づきました。そこで、ひとり暮らし高齢者宅を訪問したり、支援施設を訪問し、実際の困りと不安を知り、一緒に考えました。コップ一杯のお湯とタオルで心身とも健康に保つ方法などを伝えると同時に、私たちだけでは限界がありすぎることに気づきました。この窮状を、地域みんなでバリアフリーの防災対策として一緒に取り組める『体験型』に進化させ、ネットワークを広げることになりました。全員の命をとりこぼしなく助け合える知識とノウハウ。それを周囲へ伝えていくネットワークのかすがいとして『体験型』防災啓発を活かしていきます。



き 気づき かんが 考え じっこう 実行する

私たちのオリジナル防災啓発『体験型』で 地域のバリアフリー ネットワークを！！

- より多くの人に 緊急時に“命”を守りあう大切さを知ってほしい！
- 防災啓発のバリアフリー化！
- 実社会に即した新しいアイデアが生み出せる！
- 社会人として関わっていく！

私たちは 地域の一員

＜活動内容(抜粋)＞



＜プロフィール＞

平田高校JRC部は昭和37年以前に創部された歴史ある部活動です。『気づき・考え・実行する』を合言葉に、人の役に立ちたい！と思う人がどんどん集まってきて、楽しく活動しています。近年は、全校生徒だけではなく、地域の大人・幼児・高齢者などいろんな立場の方々へ向けて、『体験型』で防災啓発を行うようになりました。そして昨年からは、健常者だけでなく、災害弱者の方々にも目を向け始め、地域のネットワークがかなり広がりました。今年度は1年生が沢山入部したので、さらに地域のコミュニティを熱く温かくする防災啓発『体験型』を企画していきます！



私たちオリジナルの 防災啓発『体験型』 (抜粋)

企画書・依頼書・申請書・共通認識書・礼状 ぜんぶ自分たちで

地域イベントで“防災のアイデアエ夫しよう！”

床？段ボール？箱？ 梱包材で布団？紙くず布団？ 寝くらべてみよう

“水”の重さは“命”の重さ

外国籍の方も一緒に やさしい日本語とSDGsの観点で 防災啓発『体験型』

両手をあけて安全に逃げよう！ 風呂敷をリュックにする30秒ワザ

本気にさせるための“しかけ”をたくさん！

本気で体験するために、必ず事前に 防災の知識を身に付けよう！

Q1: 最近では、どんな災害や避難体験がありますか？

- ・高齢者、乳幼児
- ・高齢で難聴としている
- ・深夜・大雨の日・木霊の日
- ・1人で留守番中
- ・地下鉄中・駅での地震中

地域の大規模避難訓練で『体験型』防災

低体温症とエコノミー症候群を防ごう！ タオルケットをダウンに30秒ワザ

身の回りの物で折る・切る・つなぐ ・ふさぐ・かぶせる等の工夫しよう！

ハンディをもつ人も一緒に 防災対策『体験型』

困ることを一緒に見いだそう 不自由な体を体験してみよう

＜連携機関＞

地域の方々のおかげで、連携の輪がどんどん広がっています

- ・平田地区社会福祉協議会
- ・平田地区福祉推進員
- ・平田コミセン
- ・出雲市防災安全協会
- ・平田地区女性連絡会議
- ・平田ライオンズクラブ
- ・平田消防署
- ・平田広域交通
- ・庄原地区自治協議会
- ・庄原コミセン
- ・元気な斐川を創る会
- ・NPO法人かえる倶楽部
- ・青少年健全育成協議会
- ・出雲市総合ボランティアセンター
- ・いずもTogether
- ・島根県立大学防災研究会
- ・市内の小学校・保育所・高齢者施設・障がい者福祉施設
- ・島根県防災対策課
- ・島根県障がい者福祉部
- ・島根県子育て支援課
- ・平田ケーブルテレビ
- ・山陰中央新報社
- ・島根日日新聞社

卒業生は、この経験や人脈を活かし、大学にボランティアサークルや、社会でNPOやベンチャー企業を立ち上げる者も多数、皆 エネルギッシュに活躍中。

EM善玉菌で 避難所等の悪臭・防菌対策 & 土を元気にする公開講座

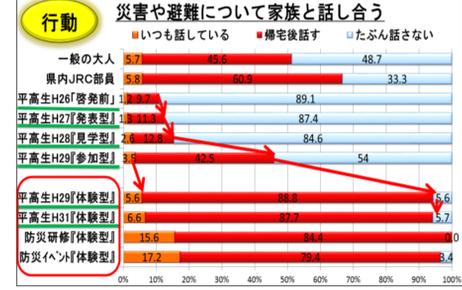
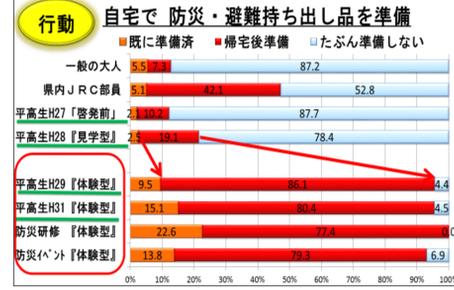
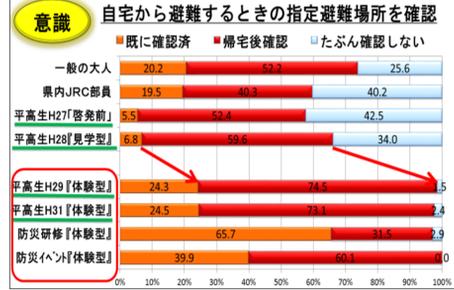
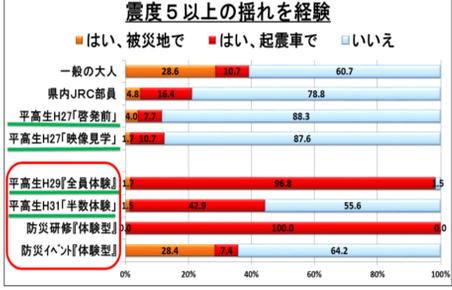
EM善玉菌あり

EM善玉菌なし

ひとり暮らしの高齢者と一緒に 防災対策『体験型』

困り感を共有しよう コップ1杯のお湯で清潔と癒し

＜活動の成果(抜粋)＞



全国 総文祭 青少年赤十字部門『研究発表』
全国 ボランティア アワード2018『来場者2万人投票 第3位』
// 『審査員特別賞 第6位』
全国 『ボランティアスピリット賞』
『救急員』資格取得(新規) 7名
『健康生活支援員』資格取得(新規) 1名
『ベーシックライフサポーター』認定 48名
『あいサポーター(障がい者サポーター)』認定 28名
『同メッセージャー(研修講師)』資格(新規) 2名
募金額 H30年間 276,146円
災害時対応の『体験型』啓発イベント企画多数



＜今後の展望・夢＞

- ◎ 『体験型』ですべての人に防災体験を！
- ◎ 防災対策のバリアフリー化のネットワークを広げる！
- ◎ 募金活動をする！被災地で活動する！
- ◎ 「救急員資格」を多くの部員が取得し責任を持って啓発する！

たくさんの方に広める！